

【採用実績・成果概要等】

研究推進プログラム(科研費獲得推進型)人文社会科学系 (2017年度) 第1回(募集期間:5月1日~5月19日)

※職名は申請時のもの

No	研究代表者			採択金額 (単位:千円)	研究課題
	所属	職名※	氏名		
1	文学部	教授	原 幸一	189	地域性を考慮した発達障がい支援の要因について
2	国際関係学部	准教授	安高 啓朗	198	世界金融危機とネオリベラリズムの持続性
3	言語教育センター	外国語嘱託講師	倪 卉	199	中国農民專業合作社の実態と農民主体形成についての研究ー中国西南部地域における農民專業合作社の地理的分布と空間的特徴に関する研究ー
4	文学部	大学非常勤講師	丸山 彩	199.2	アジア・太平洋戦争期のジャワにおける音楽文化状況に関する基礎的研究
5	法学部	教授	安達 光治	200	刑法上の結果帰属理論に関する総合的研究
6	法学部	教授	小松 浩	200	イギリスにおける議会制民主主義の劣化とそれに対する憲法的対応
7	法学部	教授	谷本 圭子	200	イタリア消費者法の現況ー消費法典改正・消費者概念・不公正条項規制に着目して
8	法学部	教授	出口 雅久	200	専門訴訟における紛争解決方法の比較法的研究
9	法学部	教授	遠山 千佳	200	日本語学習者による文章・談話構築能力の習得研究
10	法学部	教授	宮脇 正晴	200	知的財産権侵害に対する損害額の算定についての総合的研究
11	法学部	准教授	安保 寛尚	200	反奴隷制文学サークルとアフロキューバ主義における人種差別と白人の権力構図の解明
12	法学部	准教授	河野 恵一	200	前近代日本における紛争処理観の史的展開
13	法学部	准教授	安井 栄二	200	法人税法における中小企業該当要件の検討
14	法学部	大学非常勤講師	大山 万容	200	複言語主義へとつなげるための英語教員養成についての研究
15	法学部	大学非常勤講師	中川 洋一	200	欧州ガバナンス下の一国と国際機構の役割や方向性、国際協力に関する研究
16	産業社会学部	教授	大野 威	200	専門技能者に対する職業訓練の日米比較:企業内訓練とジョブ・コープスを中心にして
17	産業社会学部	教授	坂田 謙司	200	電話マナーの成立過程と日本語標準語化の関係に関する歴史社会学的研究
18	産業社会学部	教授	前田 信彦	200	中高年齢期のリカレント学習を通じた実践的能力形成とセカンドキャリア構築に関する研究
19	産業社会学部	教授	三笥 利幸	200	マックス・ヴェーバーの民主主義論の再構成とその現代的可能性の探求
20	産業社会学部	教授	山本 耕平	200	ひきこもりを主とする困難を有する若者の地域支援に関する三つの局面の方法。哲学
21	産業社会学部	准教授	江口 友朗	200	アジアでの私的な金銭のやりとりの仔細に関する仮説化:制度論的な実証研究
22	産業社会学部	准教授	松島 綾	200	アメリカにおけるイスラム系女性移民のエンパワーメントにおける課題
23	産業社会学部	助教	杉浦 愛	200	グローバル人材育成の視座による我が国の大学留学プログラム
24	国際関係学部	教授	中戸 祐夫	200	ネオクラシカル・リアリズムからみる北朝鮮の核戦略
25	国際関係学部	教授	RAJKAI Zsombor Tibor	200	家族主義と個人化の社会学的な考察
26	国際関係学部	准教授	KUNSCHAK Claudia	200	Developing translingual and transcultural competence in internationalized university settings
27	文学部	教授	赤間 亮	200	カリフォルニア大学バークレー校アジア図書館所蔵絵入版本のデジタルカタロギング
28	文学部	教授	木立 雅朗	200	染織資料を通じたデザインの国際的な循環と利活用に関する基礎的研究
29	文学部	教授	高橋 秀寿	200	グローバル・ナショナル・リージョナルの三空間と現代社会の歴史的位相

【採用実績・成果概要等】

研究推進プログラム(科研費獲得推進型)人文社会科学系 (2017年度) 第1回(募集期間:5月1日~5月19日)

※職名は申請時のもの

No	研究代表者			採択金額 (単位:千円)	研究課題
	所属	職名※	氏名		
30	文学部	教授	田中 聡	200	戦後京都の教育資料にみる地域住民の歴史意識変容に関する研究
31	文学部	教授	田中 省作	200	論文内の言語断片に対する使用分野に関する基礎研究
32	文学部	教授	中西 健治	200	『寝覚物語』の多角的研究と新見創出
33	文学部	教授	根本 浩行	200	IELTSを活用した英語学術リテラシー習得に関する混合研究
34	文学部	教授	本郷 真紹	200	東アジアにおける古代王権の異宗教間交渉と習合に及ぼす影響に関する比較研究
35	文学部	教授	美川 圭	200	日本中世史における会議の特質
36	文学部	准教授	加納 友子	200	教育における瞑想実践の有効性と危険性に関する研究
37	文学部	准教授	河角 直美	200	GISデータベースを用いた歴史都市京都の災害履歴と土地開発に関する研究
38	文学部	助教	對梨 成一	200	短形面の見かけの形、奥行き、距離、大きさ、縦断勾配に及ぼす縮尺の効果
39	文学部	特任助教	田村 昌彦	200	選択行動における心理的バイアスの同定
40	文学部	助手	春日 秀朗	200	親の期待に対する青年の適応:反応と評価の変化に注目して
41	文学部	助手	村上 嵩至	200	知覚的体制化に及ぼす文脈と認知様式の効果
42	文学部	助手	村上 晴澄	200	旅日記から見た街道の旅と風景の考察
43	文学部	大学非常勤講師	破田野 智己	200	補助的ギャンブリングの提案に向けた基礎的検討
44	文学部	大学非常勤講師	鷲尾 祐子	200	三国呉簡家族名簿の復原—戸籍・家族研究の一次史料を獲得する—
45	映像学部	教授	竹田 章作	200	非フィルム映画資料のデジタル保存に関する実践研究—手描き映画看板を題材として—
46	映像学部	講師	竹村 朋子	200	デジタルメディア時代におけるアフォーダンスを用いた「利用と満足研究」の再構築
47	経済学部	教授	Kangkook LEE	200	A Study of Rising Inequality and Egalitarian Growth in East Asia
48	経済学部	教授	黒川 清登	200	サイクルツーリズムによる地域経済振興の課題とその社会経済評価:タイと滋賀県の比較研究
49	経済学部	教授	佐藤 卓利	200	地域医療計画具体化プロセスの分析—京都府を対象として—
50	経済学部	教授	高屋 和子	200	中国内陸部農業の近代化・日本・アジアとの協力・共生の視点から
51	経済学部	教授	林 裕明	200	ロシアにおける中間層の再編と成長の質
52	経営学部	教授	佐藤 典司	200	超高齢化社会の地域プロモーション研究~近江八幡市の事例を中心に
53	経営学部	教授	SCHLUNZE, Rolf Dieter	200	Japanese expatriates managing with intercultural competence in a changing business environment of the EU
54	経営学部	教授	ラウパツハ・スミヤ ヨーク	200	省エネ技術がもたらす地域経済効果—試算モデル構築とその社会実装
55	経営学部	非常勤講師	松島 弘枝	200	韓国人学習者における漢字単語の認知:表記の親密度を統制した二字漢字単語からの検討
56	政策科学部	准教授	角本 和理	200	AI技術の発展による損害賠償帰責法理の構造転換
57	政策科学部	助教	小阪 真也	200	国際刑事法廷の残存メカニズムが果たす管轄地における法の支配確立への役割
58	政策科学部	助教	桜井 良	200	里海プログラムの教育効果測定と評価手法の開発

【採用実績・成果概要等】

研究推進プログラム(科研費獲得推進型)人文社会科学系 (2017年度) 第1回(募集期間:5月1日~5月19日)

※職名は申請時のもの

No	研究代表者			採択金額 (単位:千円)	研究課題
	所属	職名※	氏名		
59	総合心理学部	教授	宇都宮 博	200	成人初期の独身者における家族形成をめぐる意思決定と心理的適応に関する実証的研究
60	総合心理学部	教授	星野 祐司	200	ネガティブもしくはポジティブな気分が作動記憶に及ぼす影響
61	総合心理学部	准教授	澤野 美智子	200	韓国における食の行為と母性イデオロギーの関係
62	総合心理学部	特任助教	京屋 郁子	200	抽象語の表現方法の追求ー身体性、関係語との繋がりによる特徴分解ー
63	総合心理学部	特任助教	都賀 美有紀	200	順序記憶における音韻表象と意味表象の関連性の原理の解明
64	言語教育情報研究科	教授	田浦 秀幸	200	早期日英均衡バイリンガル言語習得・喪失脳内言語処理メカニズム解明fNIRS研究
65	言語教育情報研究科	教授	滝沢 直宏	200	コーパスを活用したly副詞の記述的・歴史的・理論的研究
66	先端総合学術研究科	教授	Paul Dumouchel	200	Sensory anthropology, affective coordination and artificial empathy
67	先端総合学術研究科	大学非常勤講師	中倉 智徳	200	発明・イノベーション概念と資本主義社会に関する思想史
68	公務研究科	教授	久保田 崇	200	震災復興における政策選択ー復興計画の類型化と自治体、中央省庁の役割
69	公務研究科	教授	森 道哉	200	廃棄物・リサイクル対策の政府間関係
70	法務研究科	教授	湊 二郎	200	ドイツ建設法における行政裁判所による権利保護に関する研究
71	教職研究科	教授	井上 雅彦	200	一般大学・教職大学院における国語科教員養成カリキュラムの研究
72	教職研究科	教授	久保 富三夫	200	小規模特認校における学校運営協議会設置がもたらす効果に関する研究
73	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	相澤 育郎	200	適正かつ有効な刑の個別化と社会復帰を可能にする行刑制度構築のための比較法研究
74	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	神松 幸弘	200	機能形質の多様性の群集間比較ー森林生態系におけるサンショウウオ類の生態的地位ー
75	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	山崎 優子	200	公正・公平な司法判断能力育成のための法教育の提案と有効な教材の開発
76	立命館アジア・日本研究機構	専門研究員	Fitrio Ashardiono	200	Redefinition of Uji Tea through Bio-Climatic Indicators using Terroir Concept
77	衣笠総合研究機構	教授	山田 洋子	200	ビジュアル・ナラティブによる多職種医療研修のモデルとプログラム開発
78	衣笠総合研究機構	専門研究員	高 誠晩	200	紛争後社会における家系記録の比較文化史的研究ーアジア・太平洋島嶼地域の事例
79	衣笠総合研究機構	専門研究員	田中 誠	200	室町幕府官僚機構の形成過程と將軍権力
80	衣笠総合研究機構	専門研究員	吉田 武弘	200	貴衆両院関係を中心とした帝国議会史像の構築ー1890~1925ー
81	衣笠総合研究機構	補助研究員	白石 陽子	200	ソーシャルガバナンスによる安全なまちづくりにむけた「地域力」醸成モデルの構築
82	OIC総合研究機構	専門研究員	吉岡 泰亮	200	宮城県南三陸町の志津川湾を核とした持続的沿岸域管理の実証的研究
83	共通教育推進機構	講師	宮下 聖史	200	「選択と集中」に対抗する地域社会の重層的・外延的形成の諸相に関する研究
84	言語教育センター	外国語嘱託講師	海寶 康臣	200	一般化された会話の推意を取り消し可能にする条件の解明
85	言語教育センター	外国語嘱託講師	笠巻 知子	200	プロソディ向上に対するText-to-Speechを使った音読練習の効果
86	言語教育センター	外国語嘱託講師	Kim-Wachutka, Jackie	200	Ethnic and Intergenerational Space: Multicultural Needs within Japan's Long-Term Care Insurance System for the Elderly
87	言語教育センター	外国語嘱託講師	謝 平	200	現代中国語の場面文に関する研究

【採用実績・成果概要等】

研究推進プログラム(科研費獲得推進型)人文社会科学系 (2017年度) 第1回(募集期間:5月1日~5月19日)

※職名は申請時のもの

No	研究代表者			採択金額 (単位:千円)	研究課題
	所属	職名※	氏名		
88	言語教育センター	外国語嘱託講師	STRAFELLA ELGA LAURA	200	コーパス言語学の日本語教育への応用―「美味しさ」表現の習得を目指して
89	言語教育センター	外国語嘱託講師	関根 真保	200	戦時上海におけるユダヤ避難民の文化・芸術活動と、上海租界の社会・制度との相互作用
90	言語教育センター	嘱託講師	辻 香代	200	ことばの知識と運用能力を醸成する「ことばの活動」の指導モデル考案
91	言語教育センター	外国語嘱託講師	二宗 美紀	200	現代バスク語に関する調査: 繫辞動詞に与えるスペイン語の影響
92	テクノロジー・マネジメント研究科	准教授	児玉 耕太	200	アカデミックスタートアップにおけるローカル・イニシアティブに関する比較研究
93	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	肥後 克己	200	認知発達とワーキングメモリにおける系列順序情報保持機能の関連に関する検討
94	国際教育推進機構	准教授	石川 涼子	200	世界共通語としての英語がもたらす不正義の研究
95	国際教育推進機構	准教授	駒見 一善	200	中台関係の変化と人的交流拡大がもたらす影響に関する実証研究
96	国際教育推進機構	グローバル・ゲートウェイ・プログラム担当嘱託講師	Kanduboda P. B	200	より効果的な学習方法の習得を目指した英語教育の実証研究
97	法学部	教授	木村 和成	400	大審院(民事)判決原本データベースの作成
98	文学部	教授	鷹取 祐司	400	中国秦漢時代における交通行政の展開
99	政策科学部	教授	真淵 勝	400	「リスク対応: 記憶継承の公共政策」
100	総合心理学部	教授	サトウタツヤ	400	TEM(複線径路等至性モデリング)による「QOLを脅かす状況からの回復」の研究
101	先端総合学術研究科	教授	渡辺 公三	400	環境史的人類学の視点による総合的「環太平洋文明学」の深化
102	法学部	教授	大西 祥世	500	「法の下での平等」の再定位―政治的、経済的、社会的なポジティブ・アクションの展開
103	法学部	教授	山田 希	500	フランス法における直接訴権の理論と実務
104	法学部	教授	渡辺 千原	500	医療・法の専門知と専門職の規律方式の多層化と交錯の実証的・理論的研究
105	産業社会学部	教授	黒田 学	500	知的障害者の中等教育と雇用保障、インクルーシブ社会に関する欧州比較調査研究
106	産業社会学部	教授	竹内 謙彰	500	学童期における発達のアセスメントに関わる新たな尺度開発の研究
107	産業社会学部	教授	中西 典子	500	ローカリズム(地域への自治権委譲)にみる地方分権の課題と「成熟社会」への展望
108	産業社会学部	准教授	丸山 里美	500	女性の貧困の総合的把握―女性福祉に立脚した売春防止法改正案の策定に向けて
109	国際関係学部	准教授	金 友子	500	在日朝鮮人二世の祖国意識に関する調査研究: 60-70年代の学生団体に着目して
110	文学部	准教授	岡本 広毅	500	J. R. R. トールキンの中世英語英文学研究とファンタジー創作の思想を巡って
111	文学部	准教授	亀井 大輔	500	新資料に基づくジャック・デリダの脱構築思想の新たな全体像の解明
112	文学部	助手	寺床 幸雄	500	関係論的視点からみた農山村における生活と農業の存立に関する研究
113	文学部	大学非常勤講師	磯部 淳史	500	清朝順治~康熙年間における皇帝権力と側近集団に関する研究
114	文学部	大学非常勤講師	破田野 智美	500	経験知に着想した見え方の解明: 写真表現が知覚や印象にもたらす効果の実測を通じて
115	映像学部	准教授	古川 耕平	500	舞楽曼茶羅供における舞楽のデジタル再現とその応用―丹生都比売神社を事例として―
116	経済学部	教授	坂田 圭	500	労働と休息が健康・認知能力に与える影響

【採用実績・成果概要等】

研究推進プログラム(科研費獲得推進型)人文社会科学系 (2017年度) 第1回(募集期間:5月1日~5月19日)

※職名は申請時のもの

No	研究代表者			採択金額 (単位:千円)	研究課題
	所属	職名※	氏名		
117	経済学部	教授	細貝 健司	500	私の身体の所有と処分を司る「法」と「リズム」の探求
118	経営学部	教授	桐畑 哲也	500	大学発ベンチャー育成に向けた公的支援ファンドの機能に関する研究
119	経営学部	教授	小久保 みどり	500	緊急事態に対応する組織の研究
120	経営学部	准教授	小島 愛	500	高齢者ボランティアとソーシャル・キャピタルに関する実証研究
121	政策科学部	教授	上久保 誠人	500	被選挙権と学生政治団体、就職活動の国際比較から見る、政界の人材確保の国際比較研究
122	総合心理学部	准教授	三田村 仰	500	機能的アサーション概念についての基礎研究
123	経営管理研究科	准教授	佐伯 靖雄	500	地方創生と自動車工業集積:山陰・山陽地方の非主流型サプライヤー・システムの研究
124	衣笠総合研究機構	教授	鈴木 桂子	500	グローバルな連環の中の「きもの」文化ーアロハシャツ、スカジャンを中心に
125	衣笠総合研究機構	准教授	金 度源	500	歴史的な町並みにおけるコミュニティ防災を支援する住民防災活動データベースの構築
126	衣笠総合研究機構	専門研究員	川端 美季	500	世紀転換期の公衆浴場運動における衛生規範の成立
127	衣笠総合研究機構	専門研究員	吉永 隆記	500	中世荘園の環境復元と地域社会
128	BKC社系研究機構	客員教授	足立 高德	500	認識論理を用いた構造型アプローチによる金融的確率ジャンプの発生メカニズムの研究
129	教育開発推進機構	教授	鳥居 朋子	500	大学の質保証に向けた教育プログラムの成果検証と改善の循環に関する研究
130	言語教育センター	外国語嘱託講師	横山 友里	500	スペイン語学習時の動機減退プロセスの解明とそれに基づく指導法の提案
131	法学部	教授	二宮 周平	1,000	生殖医療技術・養子縁組等を用いた開放的な家族の形成と当事者支援システムの構築
132	政策科学部	教授	小幡 範雄	1,000	防災の公共政策としての大規模災害時アスベスト対策の日米比較研究
133	総合心理学部	教授	森岡 正芳	1,000	対話協働と時間性の構造化による物語の構想力の開発

**【採用実績・成果概要等】**

研究推進プログラム(科研費獲得推進型)人文社会科学系 (2017年度) 第2回(募集期間:6月14日～6月28日)

※職名は申請時のもの

No	研究代表者			採択金額 (単位:千円)	研究課題
	所属	職名※	氏名		
1	政策科学部	准教授	豊田祐輔	500	都市部における不参加住民を対象とした地域防災力の底上げに関する研究

【採用実績・成果概要等】

研究推進プログラム(科研費獲得推進型)人文社会科学系 (2017年度) 第3回(募集期間:9月5日~9月20日)

※職名は申請時のもの

No	研究代表者			採択金額 (単位:千円)	研究課題
	所属	職名※	氏名		
1	国際関係学部	准教授	Mario Liong	195	The Impact of Digital Technology on Sexuality of Young People in Japan
2	産業社会学部	教授	原尻 英樹	200	東シナ海域の基層文化とそれをもとに形成された各地域文化の比較研究
3	産業社会学部	教授	福間 良明	200	大衆教養主義の変容と戦後
4	国際関係学部	准教授	岩田 拓夫	200	政治的変容期のアフリカ社会における「笑い」の質的量的変化に関する研究
5	文学部	教授	矢野 健一	200	遺物埋没状況の空間位置再現展示を発掘と同時併行で実施する遺跡公開発掘手法の開発
6	経済学部	准教授	申 雪梅	200	中国における付加価値税改革の動学一般均衡モデル分析
7	経営学部	教授	木本 伸	200	海への逃走—ドイツ再統一後の映画に関する一考察
8	経営学部	准教授	金 昌柱	200	中小小売企業の戦略的同盟における価値創造と知識革新に関する組織的課題
9	経営学部	准教授	谷川 智彦	200	経営幹部層の多様化要因に関する理論的・実証的研究
10	経営学部	准教授	山崎 文徳	200	武力紛争形態の変容と技術的産業基盤のグローバル化
11	経営学部	助教	干 鑫	200	ユーザー志向のイノベーションの普及プロセスに関する実証研究
12	政策科学部	教授	鐘ヶ江 秀彦	200	歴史都市継承のための隣接可能領域に着目した人類とテクニウムの共進化に関する研究
13	政策科学部	教授	服部 利幸	200	北摂地域を中心とした学際的地域課題解決方法の研究
14	政策科学部	授業担当講師	前田 萌	200	地方自治体の『総合性』の検討:アメリカ特別地区の調査研究
15	総合心理学部	助手	廣瀬 翔平	200	幼児の他者の注意を引くための自己主張が集団生活への適応にもたらす役割・効果の解明
16	言語教育情報研究科	教授	David Gregory Coulson	200	Analyzing and evaluating the success of IB, and IB-hybrid curriculum reform, in diverse schools throughout Japan, with view to spreading good practice in English education
17	先端総合学術研究科	教授	美馬 達哉	200	脳刺激ニューロフィードバックでのヒト脳内伝達物質の随意的操作
18	テクノロジー・マネジメント研究科	准教授	児玉 耕太	200	自己重合する蛋白質間相互作用の高精度定量に基づいた化合物スクリーニング法の確立
19	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	川本 静香	200	妊産婦とパートナーを対象としたうつ病治療に対する相補的意思決定支援モデルの構築
20	立命館グローバル・イノベーション研究機構	研究員	妹尾 麻美	200	初年次のキャリア教育がその後の学生生活に及ぼす影響
21	衣笠総合研究機構	准教授	渡辺 克典	200	発話の障害と治療・矯正の制度編成に関する歴史研究
22	衣笠総合研究機構	専門研究員	藤田 研二郎	200	ニュージーランドにおける環境NGO・NPOに向けた政策過程の開放に関する研究
23	BKC社系研究機構	専門研究員	大住 あづさ	200	伝統地域産品フードシステム内の垂直的調整に関する研究
24	OIC総合研究機構	教授	柴田 晃	200	ゴルフ場剪定枝・刈芝等処理実態調査と炭化・農地埋設による有効利用の基礎的研究
25	総合心理学部	教授	サトウタツヤ	380	ナラティブアプローチによる「社会生活・人間関係」ならびに「対人援助」の問題解決
26	国際関係学部	准教授	Andrea De Antoni	500	オラリティの様式と知覚された共有—記憶・(ヘルス)ケアと共感の比較研究
27	文学部	教授	高橋 学	500	環境史からみた開発と災害の研究 (領域名)年縞環境史学の創成:人類世の始まりと未来
28	文学部	教授	山崎 有恒	500	トランスナショナルデジタルアーカイブの構築による近代日本植民地史料情報の共有
29	総合心理学部	教授	服部 雅史	500	認知的非対称性と思考のバイアス

【採用実績・成果概要等】

研究推進プログラム(科研費獲得推進型)人文社会科学系 (2017年度) 第3回(募集期間:9月5日~9月20日)

※職名は申請時のもの

No	研究代表者			採択金額 (単位:千円)	研究課題
	所属	職名※	氏名		
30	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	山崎 優子	500	取調べの適正を評価する客観的尺度の構築
31	衣笠総合研究機構	教授	安田 喜憲	500	持続可能な環境利用とライフスタイルの構築 (領域名)年縞環境史学の創成:人類世の始まりと未来
32	衣笠総合研究機構	教授	山田 洋子	500	乳幼児の身振り、ことば、ナラティブの発達-共存コミュニケーションと意味の共同行為
33	衣笠総合研究機構	専門研究員	高松 泰行	500	脳血管疾患に対する静磁場刺激の効果とメカニズムの解明
34	言語教育センター	嘱託講師	西条 正樹	500	プロサッカーコーチの言語技術の機能分析調査
35	言語教育センター	嘱託講師	宮脇 かおり	500	市民教育としての英語スピーチ・ディベート